Q：栗山高校及び介護学校への導入を

A：ニーズ調査の結果を踏まえ検討する

学校給食

斉藤隆浩 議員

質問趣旨　8月の文書質問の答弁に基づき保護者の負担軽減や健全な食生活の確保、食育の観点からも栗山高校及び北海道介護福祉学校でも給食の導入ができないかについて質問した。

議員　①給食の導入について、難しい課題があるとの答弁ですが、過去に高校及び介護学校への給食導入について検討や導入に対する経費の試算をしたことがあるのか。
②ニーズ調査等を実施し今後給食導入の必要性について判断するとの答弁ですが、いつ、どのようにニーズ調査を行い、いつまでに判断するのか。

教育長　①栗山高校については試算（約6600万円）したが介護学校については試算していない。現段階で給食の導入については考えておらず高校においてはカリキュラムの変更が必要だが、道教委が決めることなので町教委では決められない。給食導入には経費も掛かり生徒たちの給食の需要もない。様々な課題をクリアするのは難しい。
②栗山高校の生徒と保護者においては道教委に依頼し、道教委から栗山高校へニーズ調査が可能か問い合わせることになる。介護学校と今後高校進学を検討する栗山中学校の生徒と保護者については返信率が低いと思うがニーズ調査を実施する。

給食のある公立高校はまだ少ない

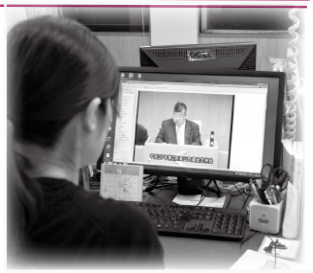
反問！

教育長　介護学校の生徒に学校給食のニーズがない中で給食を食べるよう強制させるのは誰がやるのか。

議員　小中学校でも給食を望まない子もいるが学校給食法で決まっているので実施している。栗山高校や介護学校もやると決めて前に進めば給食が当たり前になってニーズはついてくる。やる前から出来ないと言うのではなく前に進みませんかと言っている。

感想　以前から先輩議員や町民、学生や卒業生やその保護者の一部からも給食についての要望が出ている。少子高齢化の中で保護者の働き方も変わり、負担も増していると思う。栗山町の学校だとお昼ご飯は安心だと思える学校づくりも必要だと感じている。
　元々やっていなかった取り組みで当然課題が山積している事は承知した上で質問を重ねたが議論は平行線をたどり前向きに進むところまではたどりつけなかった。ご期待頂いた町民の皆様大変申し訳ない。

議会中継をご自宅で見ることができます

議会では、インターネットによるライブ中継（生中継）と録画配信をしています。栗山町議会ホームページからご覧ください。

栗山町議会　検索